

令和6年度 学校評価（あきた型）シート
「秋田西高等学校」

①	評価領域	総務部
---	------	-----

目標の設定（Plan）

②	重点目標	適切な文書処理・行事予定の調整を行い、教育活動および各校務分掌が円滑に運営されるよう努める。
③	現 状	教育活動の充実に向けて各分掌との連携を進めている。
④	具体的な目標	適切な文書管理を通じて、校務の円滑化を図る。
⑤	目標達成のための方策	校務支援システム等を活用しながら各分掌との共通理解を図り、教育活動が円滑に進むよう業務を遂行する。

実践（Do）

⑥	具体的な取組状況	ICTを活用して情報を共有しながら分掌間の共通理解を図った。
⑦	達成状況	行事日程の微調整を昨年度より円滑に進められた。

自己評価（Check）

評価基準	A：具体的な活動が示され目標を達成できた。 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

⑧	自己評価	評 価	根 拠
		A	文書管理の効率化と校務の円滑化を実現できた。

⑨	学校関係者評価と意見	評 価	意 見
		A	ICTをうまく活用し、目標に掲げた校務の円滑化を実現出来た点は評価できる。配布物に関する保護者からの要望がとても多いと感じた。学校・保護者・PTA役員の連携が少なく感じる。「すぐーる」をもっと活用し、発信すべきである。万が一の災害に対応できるよう取り組んでいる。

改善した実践（Action）

⑩	自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	校務の円滑化に向けた努力は今後も継続する。また、保護者に向けた「すぐーる」での情報発信について、緊急連絡に限定せずより幅広く発信する情報を増やすよう各担当と連携する。
---	-----------------------	---